

NO.	意見	対応
1	Web 回答とは別に、1 枚ものの裏表で書ける紙ベースのアンケート調査票も別途御準備いただきたい。	紙ベースのアンケート調査票を用意します。 利用者アンケートの進め方については、①事業所から市内利用者の方に対し、「アンケート依頼文書+紙ベースアンケート調査票」を封筒に入れ配布していただく、②利用者もしくはご家族の方は依頼文書に記載のあるQRコードを読み取りWeb上で回答（紙ベースで回答したい場合は、同封されている紙の調査票に記載のうえ、配布時に渡された封筒に封をして事業所の方に渡す※封筒は両面テープ付なので回答内容が漏れることはない）という流れになります。
2	Web上で回答するとなると、1人で何度も回答することが懸念される。何かしら手立てを講じる必要がある。	アンケート調査依頼文書に、通し番号を印字する予定にしまして、回答する際に、その番号をWeb回答する際に入力していただくことで重複回答を防ぎます。
3	資料4-1問5の質問に「今後」を入れる。	御意見のとおり修正します。
4	事業所インタビューの「運営していく中での改善したい課題」について、上位3つに限定+その他のところ以外に何か自由記述が書けるようにしてはどうか。	御意見のとおり修正します。
5	問9「合理的配慮の提供が義務化されますが・・・」という質問について、合理的配慮の提供について少し説明書きを加えてはどうか。	令和6年4月から義務化されるため、その事も含め説明書きを追記します。
6	令和6年度に放課後等デイサービスの法改正が予定されている中で、どのように対応するのか聞いておくのはどうか。	今後報酬改定で「総合支援型」「特定プログラム特化型」の2類型に分けられることになっていますが、詳細についてはまだ国から示されていないので、示された段階で別途アンケート調査を実施する予定です。
7	事業所によっては、今現在医療的ケア児を支援していて、なおかつそれに伴っての体制であったり障壁について書かれるところ、今支援していないけれども今後受け入れていきたいと思っている場合の課題であったり障壁を書かれるところ、2パターンあると思うので、少し質問をする上で段階を踏んだ方がいいのではないか。	現在支援しているかどうかで回答内容も変わってくることから、前段に支援しているかどうかを確認した上で、課題を回答していただくように修正します。
8	問3で職員の定着・育成・・・との設問になっていることから、問2の選択肢も職員の定着・育成にしてはどうか。	御意見のとおり修正します。

アンケート調査票に関する事

その他	1	障がい福祉サービス費として年間どの程度費用がかかっているのか教えていただきたい。	次回策定委員会にて御報告いたします。
	2	分かりやすい障がい福祉計画に。概要版に数値だけではなく、良かったケースのインタビュー・少しこんなことで困っているといった声、今後取り組むべき課題などを盛り込んでどうか。イラストや写真を使い、分かりやすい・読んでもらいやすい計画にして欲しい。	今後策定委員会を重ねていく中で、分かりやすさ・読みやすさの部分も含め御意見をおうかがいしていきます。